

研究課題

急性胆嚢炎に対する経皮経肝胆嚢ドレナージ後、7日以内に手術を施行した症例の検討

研究期間

承認日 ～ 2021年12月31日

研究機関

市立吹田市民病院 外科

対象

2016年1月から2020年12月までに当院で急性胆嚢炎に対し手術を行った方

目的

急性胆嚢炎に対する治療の第一選択は早期の手術（腹腔鏡下胆嚢摘出術）である。しかし、症例によっては手術リスクの高い場合、施設の状況などで早期手術が不可能な場合、患者が手術を拒否する場合など、何らかの理由で早期手術が施行できない場合もある。その場合は治療として胆嚢ドレナージが推奨される。一方で胆嚢ドレナージ後の適切な手術時期については一定の見解は得られていない。また、入院期間は患者にとっても医療経済的にも短いことが望まれる。そこで胆嚢ドレナージ後早期（7日以内）に手術を施行した症例と緊急手術を施行した症例と比較検討することとした。

この研究結果によってはより安全な治療計画を立てることができ、治療方針の選択肢が増えることが期待される。

方法

患者背景、手術因子等を胆嚢ドレナージ後早期（7日以内）に手術を施行した症例と緊急手術を施行した症例と比較検討し評価する。

意義

治療リスクの予測が可能となれば、年齢を理由とした治療強度の減弱を回避することや、術前準備を強化する必要性の判断等、症例毎の治療方針の決定に役立つことが期待される。

個人情報の保護

本研究では患者様のカルテなどから病歴および血液検査結果に関するデータ収集を行うため、研究対象者のプライバシー保護のため研究の意義や目的、方法、匿名化の確保を行い、研究結果はインターネットのホームページ上に公表されます。研究のために知りえた個人情報は院外に持ち出さず、記録物と合わせて施錠可能な場所に厳重に保管・保存します。データは個人情報が特定できないようにします。また、本研究でのみ使用し研究終了後 5 年間保存しその後個人情報に留意し破棄します。研究結果は学会・論文に発表することもあります。その際も個人情報が特定できないように対処します。

本研究は当院臨床研究審査委員会の承認を得て実施しています。

お問い合わせ

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

情報が本研究に用いられることについて、患者さまもしくは患者さまの代理人の方にご了承いただけない場合、研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。

ただし、すでにこの研究の結果が学会・論文などで公表されていた場合には提供していた情報やデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。

市立吹田市民病院 外科 福地成晃

住所：〒564-8567 大阪府吹田市岸部新町 5-7 電話番号：06-6387-3311(代)